

地域ケア推進会議の４つの視点について

視点	内容
多職種連携のネットワーク構築支援	<p>＜多職種連携のための、ネットワークを構築するための話し合いを行う＞</p> <p>ネットワークには、地域の団体やボランティア団体、地元の民間企業なども含まれており、地域包括ケアシステムの支援ネットワークの連携が強まることを目指す。また、その仕組みを作る合意と目的（役割）と全体像及びイメージの話し合いを行う。</p> <p>例)</p> <p>「現状を共有化する。」</p> <p>「問題を課題として共通化する。」</p> <p>「取り組みを協働化する。」</p> <p>「持続するためのシステムを作る」</p>
地域課題の発見	<p>＜地域課題を発見するための話し合いを行う＞</p> <p>地域課題を発見し、その解決のために、他の機能ごとに何に取り組めばよいか話し合いを行う。</p> <p>地域の歴史、産業、人口分布、地元気質、環境等地域の特性を話し合う。</p>
地域づくりと地域の資源開発及び連携	<p>＜社会資源・地域資源へのニーズを整理・分析し、どのように開発するのか構想を練る＞</p> <p>例)</p> <p>「介護・医療などの社会資源と、インフォーマルや生活に関わる地域資源の現状を整理する」</p> <p>「どのような社会資源・地域資源があればよいか話し合う」</p> <p>「どのようにして社会資源・地域資源を進めていくかシュミレーションする」</p> <p>「可能性・リスクを予想した話し合いをする」</p>
政策形成	<p>＜政策を形成するための話し合いを行う＞</p> <p>本会議は、「地域包括ケアの諮問会議」であり、作戦本部でもある。</p> <p>例)</p> <p>「高齢者福祉計画・介護保険事業計画への反映」</p> <p>「各種事業計画や条例などへの提案」</p> <p>「行政における年度予算や他の行政業務への反映」</p> <p>「関係機関・団体へ協力・協働のための提案」</p>